



〈校長室から〉

令和7年6月18日号

蓮池小学校長

松井 恵子

写真は蓮池小のゆるキャラ

『はすみん』



全校朝会の『校長先生のお話』

保護者の方から、「校長先生の全校朝会のお話を子どもが家でしてくれるんです。」と声をかけていただいていたのですが、なかなか、子供たちにどんなことを話しているか、知らない方が多いと思いますので、今回は、蓮池わーんどで、始業式と6月の全校朝会での校長先生のお話を紹介します。「夢をもつこと」と「よりよい社会にするために自分ごととしてとらえること」をお話しています。

〈2025 年始業式のお話〉

ある漫画家のお話を教えます。その人は、4 歳のときに漫画家という職業があることを知り、漫画をかくお金がもらえるなら、漫画家になろうと夢を持ちました。17 歳のときに、手塚治虫賞という賞をとって、少年ジャンプの編集者がつき、順風満帆ですぐに漫画が毎週連載できると思いました、ところが、あらすじを書いて、少年ジャンプの人に提出しても、ぼつ。ぜんぜん通らない、漫画は連載には至らないのです。描いてもかいてもぼつになる。編集会議で不合格の漫画は、本にのせてもらえないのです。ついに、その漫画家は倒れて、体が動かなくなり寝こんでしまいました。

「もう漫画家になるのをやめよう」

そんなとき、担当編集者がこういってくれました。

「こんなにがんばってむくわれなかったやつをおれはいままでみたことがない！ かならず報われる日がくる！！」

漫画家は泣き崩れて、またがんばろうと思って漫画を描きました、その漫画が、

『ONE PIECE』（ワンピース）

そう、この漫画家とは、尾田栄一郎さんのことです。

難しいことは発見の扉です。失敗もチャンスなんです。何度でもやり直しをして困難を乗り越える力を成長させる場所、それが学校です。夢をもち、チャレンジしていきましょう・・・

という話を、去年の始業式にしました。覚えてた？（たくさんの子が覚えていました）

失敗もチャンス、チャレンジはとても大切です。でもね、もっと大事なことに先生は気づいたんです。それを今年、みんなに成長してほしいこととして伝えます。それはね、もうだめだと倒れた尾田栄一郎さんに、心の底から応援した編集者の人のこと。もし、その編集者の応援がなかったら・・・もし、その応援が「がんばってください」という言葉だけだったら、どうなっていたらうって。倒れた尾田栄一郎さんに立ち上げる力を与えたのは、普通の応援ではなく、自分のことのように感じた編集の人の心の底からの応援です。もちろん困難を乗り越え夢をかなえたこともすごい、けど、自分のことのように相手のことを考え心から応援できることの方が、もっと素晴らしく尊いということに、先生はやっと気づきました。編集の人の応援が普通のことはではなく、自分のことのように考え、心からの応援だったから尾田栄一郎さんは復活できた。きっと尾田栄一郎さんも心から編集の人に感謝し、信頼し、お互い幸せになったことでしょう。

去年、夢をもち、チャレンジする心を成長させた蓮池っ子のみんな。今年、成長してほしいことは、自分のことのように周りのことを考えて、心から応援できる人になってほしいということです。心から応援できる人は、心から人に思われて応援される人にもなります。この2人のように。蓮池っ子のみんながお互いに尾田栄一郎さんであり、心から応援できる編集者さんであれたなら、どんどん夢は叶い、幸せが大きくなります。そして、その幸せの輪は、日本に広がり、さらに世界平和につながっていくと先生は思います。

「かんたんで楽しい」の次のレベル「難しいから楽しい」の階段をあがった蓮池っ子のみんな、これから「自分のことのように人のことを考えて心から応援すること」を大事にしましょう。もちろん、先

生たちも一緒です。みんなでがんばりましょう。これで校長先生のお話を終わります。

6月の全校朝会では、故 長嶋茂雄さんの報道を受け、スライドを作って、お話しました。

《6月9日全校朝会のお話》

国民栄誉賞にも選ばれたミスタープロ野球といわれるほど、プロ野球をメジャーにした長嶋茂雄さん。大谷選手も松井秀喜選手も、この長嶋さんの活躍があったからこそ、プロ野球を夢にし、今の活躍があると思います。一つ目「夢をもちましょう。あこがれを持ちましょう。」それは、大人もです。大人になって夢は終わりではありません。2つめ、3つめの夢をもつんです。大人も子供も、夢やあこがれをもちましょう。では、夢をかなえるには、どうしたらよいでしょうか。プのバレーボール選手でオリンピック出場もした大山加奈さんは、学生時代、バレーだけやっておけばバレーボールで全国優勝の夢を果たせると思っていました。バレーの練習だけががんばって、授業は寝てしまっていたり、あいさつもしなかったりしたそうです。でも、バレー以外のことをがんばるようにしたら、たくさんの人が味方になってくれて、支えてくれ、感謝が増え、全国優勝という夢がかなったと言っています。夢をかなえるには、夢のこと以外のことに一生懸命に取り組むことやあいさつをすること、感謝を口にする事など、夢以外のことも大事なんです。夢をもち、夢をかなえる自分になるために、これから、あいさつ、その中でも「おはよう」を1日10回以上いうことを目標にしてほしいです。もちろん、前から校長先生は、1日にありがとうを10回以上言いましょうと言っていました。ありがとうとおはようを1日10回以上いっていきましょう。そして、夢をかなえる蓮池小学校にしていきましょう。

この蓮池わーどをきっかけにして、お子さんと「夢」について、お話いただけると嬉しいです。ただし、否定的な反応でドリームカラーにならないでください。「きっとできるよ」とほほ笑んであげてください。そして、大人の私たちも夢やあこがれをもってすすんでいきましょう！！これからも、大人の前向きな姿を保護者のみなさんも校長も先生たちも一緒に周りの大人みんなで届けていきたいです。

令和7年10月16日（木）

工藤勇一先生子育て講演会＆給食試食会

年間行事予定にプラスして、10月16日（木）午前10：30ごろから、工藤勇一氏の子育て講演会を開催します。工藤勇一氏は、校長として、東京都千代田区立麹町中学校や学校法人堀井学園横浜創英中学・高等学校で、定期テストや宿題廃止など型破りな学校改革を進めたことで有名です。テレビ番組カンブリア宮殿に2019年に特集され、出演されており、私も拝見しまして、非常に衝撃と感動を受けたこと、今でも心にやきついております。4月から放映されていたTBS日曜ドラマ「御上先生」にも監修でかわられておりました。ドラマの中で御上先生が「考える力とは？」という問いに対して、「考えても考えても正解にたどり着かない問題を考え続ける力が考える力」と言ったシーンがありました。今の教育の根幹だと思います。社会には解決できる問題ばかりではありません。でも、考え続ける力が大切である・・・胸に刺さっています。

昨年度は、私からのたつての希望で、工藤先生に、年間を通じて教職員対象でzoomにて研修を頂きました。今年度は、保護者の皆様と工藤先生のご講演を通して、子育てや教育について、深めていきたいと思い、工藤先生に依頼しましたところ、上記の日程で工藤先生はzoomとなりますが、講演会を開催できる運びとなりました。

当日は、保護者の方には会議室に参集いただき、画面越しではありますが、工藤先生の講演会を聞いていただき、その後、給食試食会を行いたいと考えております。

給食試食会とは、その日の給食メニューを事前に申し込んだ方に食べていただくというものです。すべてセルフです。小学校にタイムスリップしたかのように、おかずをいれたり、ご飯をよそったりするのも、ご参加の保護者の方で行い、みんなでいただきますをして食べます。詳細は7月にご案内します。

